

# 宮古市「復興に向けた計画づくりに関するアンケート調査」結果 【愛宕・築地・光岸地地域版】

## 1. 調査概要及び回収状況

### (1) 調査概要

調査方法： 郵送による配布、回収  
 調査期間： 発送 平成23年7月8日 回答の返送締切 平成23年7月26日  
 対象者： 被災地域及びその周辺の各世帯  
 配布数： 【市全体】6,644世帯 【愛宕・築地・光岸地地域】386世帯

### (2) 回収状況(平成23年8月16日時点)

回収数： 【市全体】3,200世帯 【愛宕・築地・光岸地地域】196世帯  
 回収率： 【市全体】48.2% 【愛宕・築地・光岸地地域】50.8%

## 2. 集計結果(愛宕・築地・光岸地地域分)

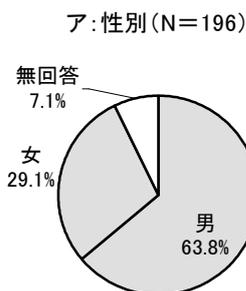
### (1) 回答者の属性

問1：世帯の代表の方についてお聞きします。  
 それぞれ当てはまる番号を1つ選び○を付けてください。

- 世帯の代表の方にお答えいただいたことにより、「男性」、「70歳代以上」の回答者が多くなっています。また、家族構成は単身世帯、一世代世帯、二世帯世帯がそれぞれ20%以上を占めています。

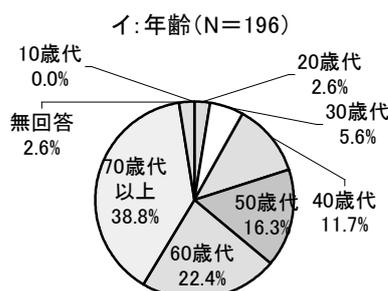
ア：性別

	全体		愛宕・光岸地	
	回答数	割合	回答数	割合
男	2,172	67.9%	125	63.8%
女	814	25.4%	57	29.1%
無回答	214	6.7%	14	7.1%
計	3,200	100.0%	196	100.0%



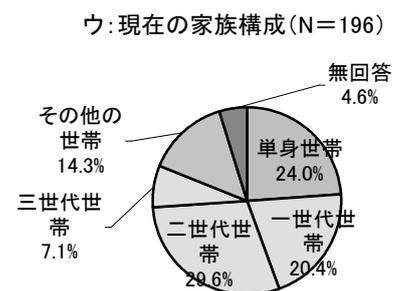
イ：年齢

	全体		愛宕・光岸地	
	回答数	割合	回答数	割合
10歳代	1	0.0%	0	0.0%
20歳代	51	1.6%	5	2.6%
30歳代	218	6.8%	11	5.6%
40歳代	393	12.3%	23	11.7%
50歳代	572	17.9%	32	16.3%
60歳代	875	27.3%	44	22.4%
70歳代以上	1,050	32.8%	76	38.8%
無回答	40	1.3%	5	2.6%
計	3,200	100.0%	196	100.0%



ウ：現在の家族構成

	全体		愛宕・光岸地	
	回答数	割合	回答数	割合
単身世帯	592	18.5%	47	24.0%
一世代世帯	786	24.6%	40	20.4%
二世帯世帯	1,142	35.7%	58	29.6%
三世帯世帯	425	13.3%	14	7.1%
その他の世帯	194	6.1%	28	14.3%
無回答	61	1.9%	9	4.6%
計	3,200	100.0%	196	100.0%



- 現在のお住まいが震災前とは別の方においては、「仮設住宅」の割合が最も高くなっています。

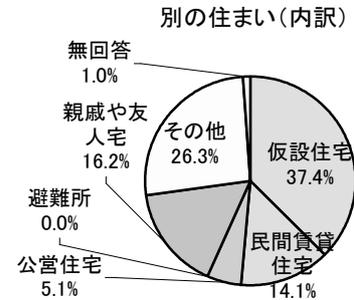
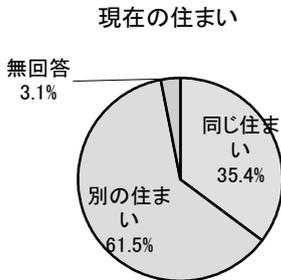
エ:現在の住まい

	全体		愛宕・光岸地	
	回答数	割合	回答数	割合
同じ住まい	993	36.8%	57	35.4%
別の住まい	1,672	61.9%	99	61.5%
無回答	35	1.3%	5	3.1%
計	2,700	100.0%	161	100.0%

※[問2エ]の「被害なし」を除いた  
2,700人(愛宕・光岸地161人)を対象

	全体		愛宕・光岸地	
	回答数	割合	回答数	割合
仮設住宅	793	47.4%	37	37.4%
民間賃貸住宅	368	22.0%	14	14.1%
公営住宅	78	4.7%	5	5.1%
避難所	33	2.0%	0	0.0%
親戚や友人宅	177	10.6%	16	16.2%
その他	214	12.8%	26	26.3%
無回答	9	0.5%	1	1.0%
計	1,672	100.0%	99	100.0%

※[エ]で「別の住まい」と回答した1,672人(愛宕・光岸地99人)を対象



- 震災前に仕事に就いていた方の中では、「販売・サービス業」が多く、職場については約30%が「愛宕・光岸地」となっています。
- 震災前に仕事に就いていた方のうち、震災後に何らかの変化(休業、廃業、退職、失業)があったと回答した方は、約40%となっています。

オ:震災前の仕事

	全体		愛宕・光岸地	
	回答数	割合	回答数	割合
農林業	28	0.9%	0	0.0%
漁業	371	11.6%	5	2.6%
製造業・建設業	447	14.0%	18	9.2%
販売・サービス業	618	19.3%	43	21.9%
公務員・団体職員	280	8.8%	15	7.7%
主婦(夫)	137	4.3%	8	4.1%
学生	1	0.0%	0	0.0%
無職	985	30.8%	75	38.3%
その他	263	8.2%	22	11.2%
無回答	70	2.2%	10	5.1%
計	3,200	100.0%	196	100.0%

カ:震災前の職場の場所

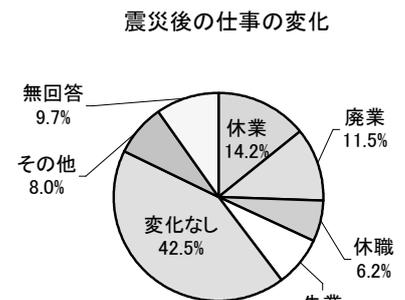
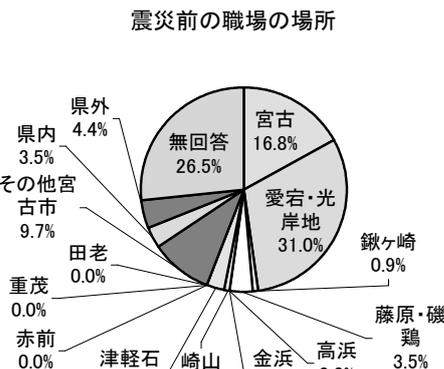
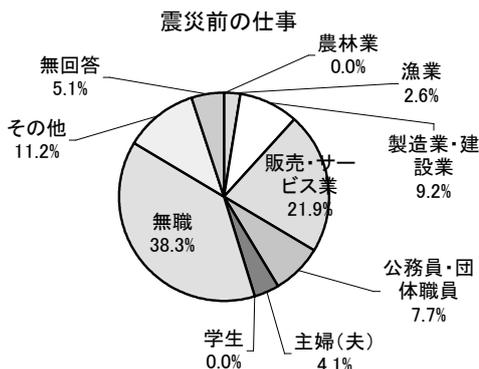
	全体		愛宕・光岸地	
	回答数	割合	回答数	割合
宮古	418	20.1%	19	16.8%
愛宕・光岸地	51	2.5%	35	31.0%
鍛ヶ崎	144	6.9%	1	0.9%
藤原・磯鶏	177	8.5%	4	3.5%
高浜	34	1.6%	0	0.0%
金浜	26	1.3%	0	0.0%
崎山	37	1.8%	1	0.9%
津軽石	78	3.8%	3	2.7%
赤前	66	3.2%	0	0.0%
重茂	59	2.8%	0	0.0%
田老	233	11.2%	0	0.0%
その他宮古市	141	6.8%	11	9.7%
県内	85	4.1%	4	3.5%
県外	43	2.1%	5	4.4%
無回答	486	23.4%	30	26.5%
計	2,078	100.0%	113	100.0%

※[オ]の主婦(夫)、無職を除いた  
2,078人(愛宕・光岸地113人)を対象

キ:震災後の仕事の変化

	全体		愛宕・光岸地	
	回答数	割合	回答数	割合
休業	396	19.1%	16	14.2%
廃業	138	6.6%	13	11.5%
退職	99	4.8%	7	6.2%
失業	182	8.8%	9	8.0%
変化なし	895	43.1%	48	42.5%
その他	182	8.8%	9	8.0%
無回答	186	9.0%	11	9.7%
計	2,078	100.0%	113	100.0%

※[オ]の主婦(夫)、無職を除いた  
2,078人(愛宕・光岸地113人)を対象



## (2) 震災前の住まい、今後の住まいについて

問2：震災前のお住まいについてお聞きします。

それぞれ当てはまる番号を1つ選び○を付けてください。

問3：今後の住まいをどのようにお考えですか。

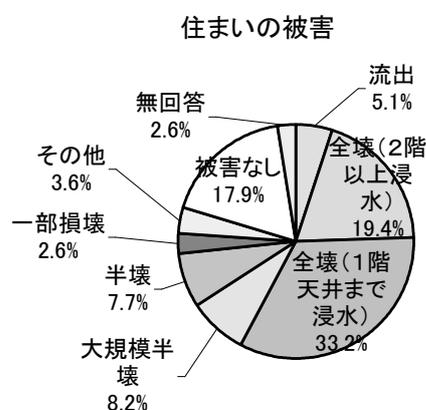
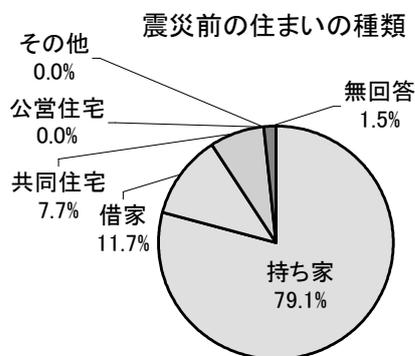
- 震災前の住まいは約80%が「持家」となっています。
- 住まいの被害については、「流出」、「全壊」、「大規模半壊」の被害を受けている方が、約65%を占めています。
- 今後の住みたい場所については、「同じ場所」、「市内で津波被害を受けない高台など」が多く回答されています。(4ページ)
- 今後の住まいは、「既に補修」、「補修予定」、「新築」が、約16%~17%とほぼ同じ割合となっています。(4ページ)
- 住みたい場所の理由は「住み慣れた地域を離れたくない」と「生活するのに便利」が多くなっています。(4ページ)
- 住みたい場所と考えている住まいをクロス集計すると、「同じ場所」で「補修予定」が最も多くなっています。(4ページ)

ウ：震災前の住まいの種類

	全体		愛宕・光岸地	
	回答数	割合	回答数	割合
持ち家	2,639	82.5%	155	79.1%
借家	225	7.0%	23	11.7%
共同住宅	218	6.8%	15	7.7%
公営住宅	26	0.8%	0	0.0%
その他	41	1.3%	0	0.0%
無回答	51	1.6%	3	1.5%
計	3,200	100.0%	196	100.0%

エ：住まいの被害

	全体		愛宕・光岸地	
	回答数	割合	回答数	割合
流出	853	26.7%	10	5.1%
全壊(2階以上浸水)	307	9.6%	38	19.4%
全壊(1階天井まで浸水)	524	16.4%	65	33.2%
大規模半壊	408	12.8%	16	8.2%
半壊	305	9.5%	15	7.7%
一部損壊	147	4.6%	5	2.6%
その他	83	2.6%	7	3.6%
被害なし	500	15.6%	35	17.9%
無回答	73	2.3%	5	2.6%
計	3,200	100.0%	196	100.0%



ア-1:住みたい場所

	全体		愛宕・光岸地	
	回答数	割合	回答数	割合
同じ場所	990	36.7%	72	44.7%
近くの高台など	753	27.9%	20	12.4%
市内	639	23.7%	51	31.7%
市外	99	3.7%	3	1.9%
その他	72	2.7%	6	3.7%
無回答	147	5.4%	9	5.6%
計	2,700	100.0%	161	100.0%

※[問2エ]の「被害なし」を除いた  
2,700人(愛宕・光岸地161人)を対象

ア-2:考えている住まい

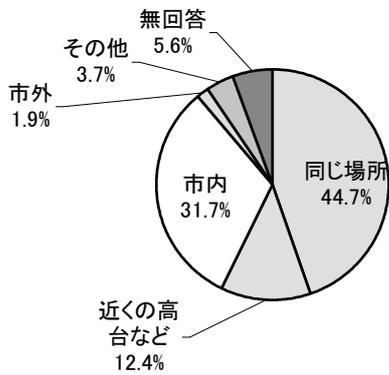
	全体		愛宕・光岸地	
	回答数	割合	回答数	割合
既に補修	488	18.1%	26	16.1%
補修予定	269	10.0%	27	16.8%
新築	811	30.0%	27	16.8%
民間賃貸	89	3.3%	8	5.0%
公営住宅	176	6.5%	7	4.3%
未定	486	18.0%	27	16.8%
その他	82	3.0%	14	8.7%
無回答	299	11.1%	25	15.5%
計	2,700	100.0%	161	100.0%

※[問2エ]の「被害なし」を除いた  
2,700人(愛宕・光岸地161人)を対象

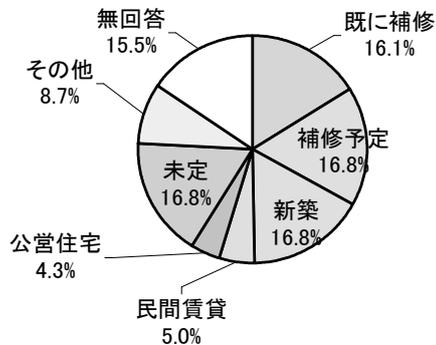
イ:理由(複数回答)

	全体		愛宕・光岸地	
	回答数	割合	回答数	割合
離れたくない	1,441	53.4%	84	52.2%
仕事場が近い	442	16.4%	22	13.7%
生活に便利	871	32.3%	62	38.5%
津波被害を受けたくない	1,037	38.4%	42	26.1%
近所づきあい	640	23.7%	37	23.0%
子どもの教育環境	229	8.5%	6	3.7%
早く住宅確保	812	30.1%	42	26.1%
費用がかかる	797	29.5%	46	28.6%
その他	121	4.5%	17	10.6%
無回答	143	5.3%	10	6.2%
計	6,533		368	

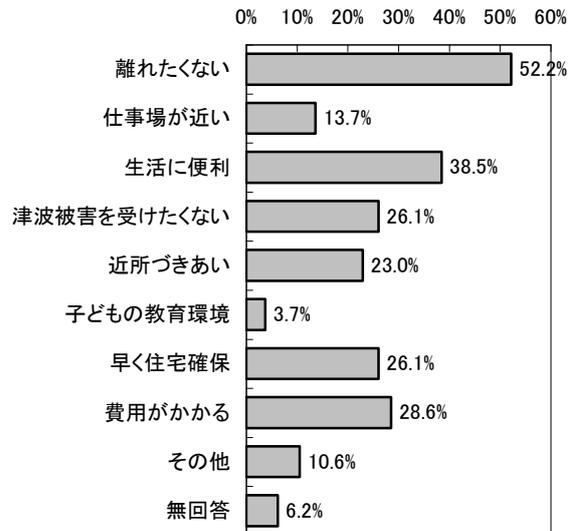
住みたい場所



考えている住まい



理由(複数回答)



住みたい場所×考えている住まいのクロス

住みたい	考えている住まい								
	既に補修	補修予定	新築	民間賃貸	公営住宅	未定	その他	無回答	計
同じ場所	20 12.4%	27 16.8%	9 5.6%	0 0.0%	1 0.6%	3 1.9%	1 0.6%	11 6.8%	72 44.7%
近くの高台など	2 1.2%	0 0.0%	5 3.1%	2 1.2%	4 2.5%	7 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	20 12.4%
市内	2 1.2%	0 0.0%	10 6.2%	6 3.7%	2 1.2%	13 8.1%	10 6.2%	8 5.0%	51 31.7%
市外	0 0.0%	0 0.0%	2 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%	0 0.0%	3 1.9%
その他	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	4 2.5%	0 0.0%	1 0.6%	6 3.7%
無回答	2 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.2%	5 3.1%	9 5.6%
計	26 16.1%	27 16.8%	27 16.8%	8 5.0%	7 4.3%	27 16.8%	14 8.7%	25 15.5%	161 100.0%

### (3) 今後の不安、備えについて

問4：これからの暮らしにおいて、不安なことについてお聞かせください。

問5：あなた自身で、今回の震災をきっかけに今後どのような備えをしたいと思いますか。

- 今後の不安としては、「余震や二次災害が不安」と「買物などが不便になる」が多くなっています。
- 今後の備えとしては、「非常時持出袋等の準備」、「家族で避難場所、避難ルートの話し合い」が多くなっています。

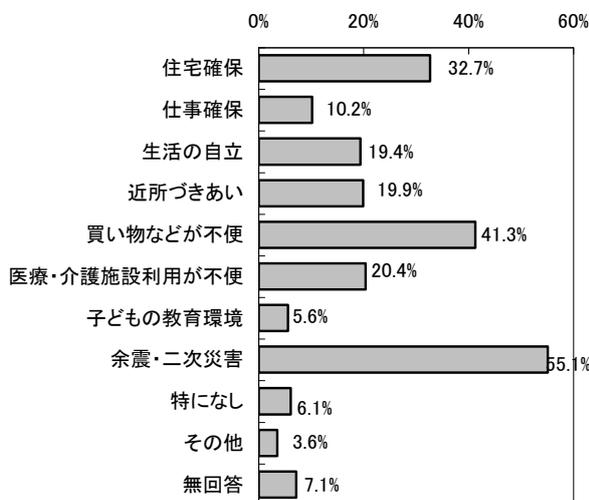
問4:これからの不安(複数回答)

	全体		愛宕・光岸地	
	回答数	割合	回答数	割合
住宅確保	1,208	37.8%	64	32.7%
仕事確保	551	17.2%	20	10.2%
生活の自立	947	29.6%	38	19.4%
近所づきあい	526	16.4%	39	19.9%
買い物などが不便	806	25.2%	81	41.3%
医療・介護施設利用が不便	817	25.5%	40	20.4%
子どもの教育環境	310	9.7%	11	5.6%
余震・二次災害	1,705	53.3%	108	55.1%
特になし	154	4.8%	12	6.1%
その他	104	3.3%	7	3.6%
無回答	173	5.4%	14	7.1%
計	7,301		434	

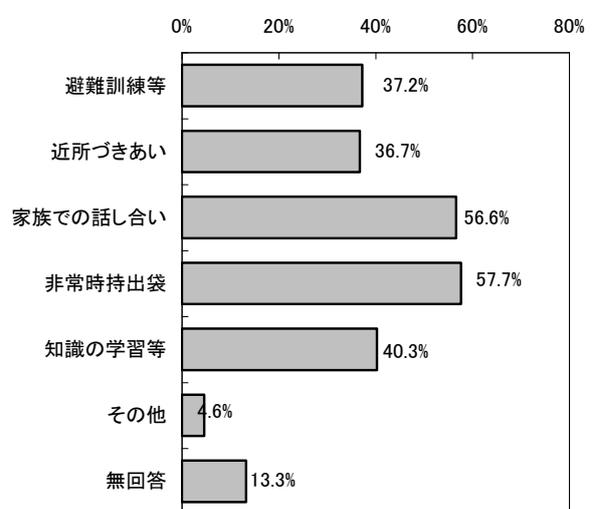
問5:今後の備え(複数回答)

	全体		愛宕・光岸地	
	回答数	割合	回答数	割合
避難訓練等	1,298	40.6%	73	37.2%
近所づきあい	1,406	43.9%	72	36.7%
家族での話し合い	2,043	63.8%	111	56.6%
非常時持出袋	1,970	61.6%	113	57.7%
知識の学習等	1,502	46.9%	79	40.3%
その他	128	4.0%	9	4.6%
無回答	333	10.4%	26	13.3%
計	8,680		483	

これからの不安(複数回答)



今後の備え(複数回答)



### (4) 復興に向けた今後の施策について

問6：現在、宮古市では復興に向けた計画づくりに向け、次の3つの分野で施策の検討を進めています。「すまいと暮らしの再建」「産業・経済復興」「安全な地域づくり」それぞれの分野について、大切であると思うことは何ですか。特に、当てはまるもの3つまでの番号を記入してください。また、施策に対するお考えや提案などがありましたらお書きください。

- 「すまいと暮らしの再建」に関しては、回答者の半数以上が「経済的な支援など生活再建に向けた取り組み」を選択し、「住宅の再建などのすまいの確保に向けた取り組み」も多くなっています。

- 「産業・経済復興」に関しては、「(施設の復旧、生産者支援、魚市場整備等の) 漁業振興に向けた取り組み」と「商業・サービス業の振興」が多くなっています。
- 「安全な地域づくり」に関しては、「防潮堤や湾口防波堤等のハード整備に向けた取り組み」、「(道路や公共交通の再整備など災害に強い) 交通網の形成に向けた取り組み」などのハード整備の取り組みが求められています。

ア:すまいと暮らしの再建(複数回答)

	全体		愛宕・光岸地	
	回答数	割合	回答数	割合
経済的な支援等	1,706	53.3%	103	52.6%
住宅再建支援	1,717	53.7%	89	45.4%
健康の維持	443	13.8%	25	12.8%
医療体制の確保	1,067	33.3%	65	33.2%
児童・生徒の心のケア	239	7.5%	10	5.1%
学校教育環境の整備	370	11.6%	23	11.7%
生涯学習等の環境整備	137	4.3%	6	3.1%
雇用の場の確保	1,139	35.6%	67	34.2%
地域コミュニティ	421	13.2%	33	16.8%
無回答	433	13.5%	32	16.3%
計	7,672		453	

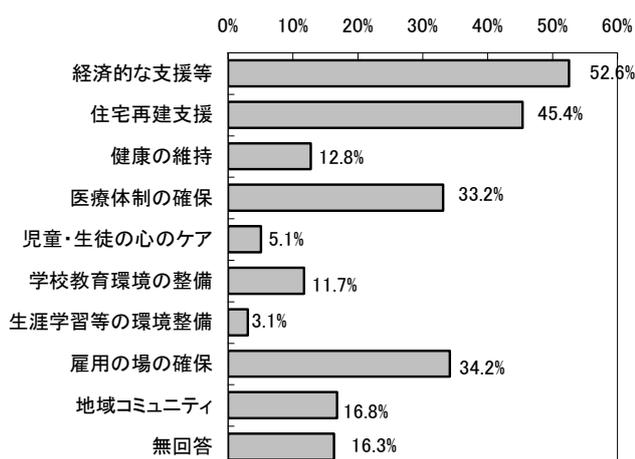
イ:産業・経済復興(複数回答)

	全体		愛宕・光岸地	
	回答数	割合	回答数	割合
農林業振興	967	30.2%	47	24.0%
漁業振興	1,522	47.6%	77	39.3%
製造業振興	815	25.5%	43	21.9%
商業・サービス業振興	881	27.5%	64	32.7%
観光振興	467	14.6%	35	17.9%
港湾振興	489	15.3%	21	10.7%
産業創出	689	21.5%	35	17.9%
事業創出	438	13.7%	34	17.3%
無回答	746	23.3%	52	26.5%
計	7,014	219.2%	408	

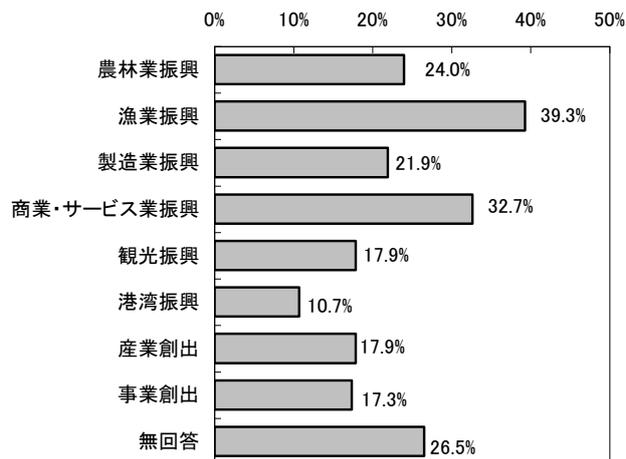
ウ:安全な地域づくり(複数回答)

	全体		愛宕・光岸地	
	回答数	割合	回答数	割合
防波堤等	1,838	57.4%	117	59.7%
交通網整備	1,717	53.7%	86	43.9%
土木施設復旧	1,361	42.5%	66	33.7%
地域防災力	444	13.9%	19	9.7%
情報伝達・避難計画	872	27.3%	54	27.6%
災害記憶継承	277	8.7%	15	7.7%
自然エネルギー	545	17.0%	35	17.9%
無回答	515	16.1%	42	21.4%
計	7,569	236.5%	434	

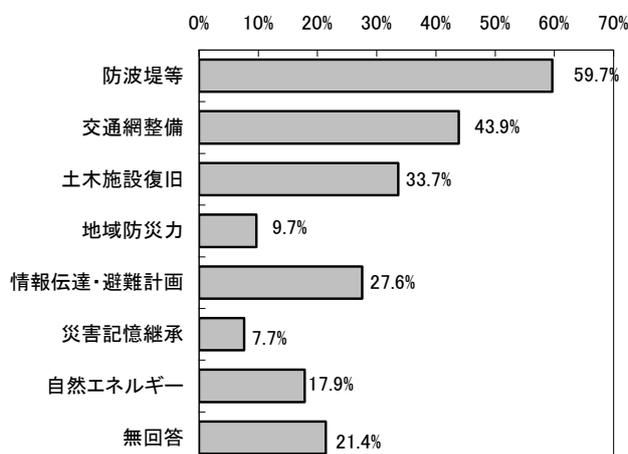
すまいと暮らしの再建(複数回答)



産業・経済復興(複数回答)



安全な地域づくり(複数回答)



## ■ 主な自由意見（原文要約）

- ・ すまいと暮らしの再建に関して、「住宅を再建するための土地の確保」や「地域コミュニティの重要性」などについての意見があります。
- ・ 産業・経済復興に関して、「漁業復旧」、「観光の振興」などについての意見があります。
- ・ 安全な地域づくりに関して、「防潮堤の整備」、「商業機能や公共施設の整ったまちづくり」、「道路の整備」などについての意見があります。
- ・ その他として、「被災者への支援のあり方」などについての意見があります。

すまいと暮らしの再建について	
1	自分たちの流された土地はどういう状況になるのか、価値がなくなるのが心配。
2	被災した土地の代替地を提供してほしい。
3	浸水地域でも、住みたい人は住めるようにしたほうが良い
4	公営住宅の整備計画を早急に進めて、具体的な内容を詰めてほしい。
5	家がなくなった人は仮設に入っているが、2年後どうしたら良いか。お金や土地がなく、車を持たない高齢者も多い。
6	災害に二度とあわない居住場所と、産業場所（市場、工場）が分離した生活圏の確保が必要。
7	愛宕公園仮設は買物、病院に行くのに交通の便が悪く体力、経済力に大変。
8	一番辛い時に避難所や仮設住宅で一緒に過ごした人達と、今後も同じ地域で生活していきたい。
9	地域のコミュニケーションが大切。同じ地域にだれが住んでいるかの把握が必要。
10	一人暮らしの後期高齢者が公的収容施設に順番待ち無く入所できるようにしてほしい。
11	店舗を早く再開したいが、以前の様な収入を維持できるかどうか不安。
産業・経済復興について	
1	宮古は漁業と観光の町である。それが活発になることにより町も豊になっていくと思う。
2	宮古でなければ、宮古にしかできない産業はたくさんある。
3	漁業の復興に向け、船や漁具への補助、漁港の堤防の再建と岸壁のかさ上げ等が必要。
4	これを機に大手チェーン店（衣・食・住）を進出させた方が良い。
安全な地域づくりについて	
1	どのような津波がきても良いような、頑強な高さのある防潮堤を建設してほしい。
2	津波を考えて海岸より離れることも大事だが、造成地をきちんとしないと地震により地盤沈下や建物の破壊がおこる。
3	商業地・住宅地は浸水エリアを考慮して配置し、安全を優先する。
4	住宅の建設地や区画整理を早く決めてほしい。
5	市役所移転場所の案があれば、それに沿ったまちづくりも一案ではないか。
6	学校跡地、警察跡地等をどうするのか、皆が住める様に考えてほしい。
7	生活するためには、住宅と衣食の店だけではなく、医療・公共機関・文化の中心地など、必要なものがある。
8	近内～山口～宮古病院を通る道路の早期着工をお願いしたい。
9	周囲が崖だらけで、道路がなく、避難するのが大変。
10	防災無線のスピーカーを復旧してほしい。郵便ポスト、公衆電話も必要。
その他	
1	家を直すための費用が、震災前と変わらない高い料金を取られている。
2	仮設やアパートに住む人達には電化製品や生活用品が無償支給され、友人宅や他に持ち家がある家族は支給されないのは不平等ではないか。
3	自分に出来ることをしっかりやり、どうしてもできないことを公的機関に頼る、そして互いに助け合うという精神でがんばりたい。
4	市だけでは出来ない支援を、国の政策も含めて考えてほしい。

MEMO

A large rectangular area with rounded corners, containing numerous horizontal dashed lines for writing.